

総評

全体的に少しずつ難しめの出題で、5教科合計の平均点もやや低めでした。

入試や道コンのような総合問題は、学校の定期テストにくらべて出題範囲が広いので、難しく感じる人が多いかもしれませんが、問われているのは基本的な内容が中心です。攻略するには、基礎・基本の定着と、場面に応じて知識や技術を活用する訓練とが欠かせません。これからは、実戦的な問題にも少しずつ取り組んで、活用する力をつけていきましょう。

入試問題の半分以上は、1・2年の学習内容で解くことのできる問題ですから、この範囲を復習し、定着させておくことはたいへん重要です。夏休みまでに1・2年内容の復習をすませておけば、スムーズに受験勉強を始めることができますよ！

国語

標準的な出題でした。

㊦は、問三①が難しかったようです。形の似ている「しめすへん」の他に「ごごとへん」「のぎへん」など様々な解答が見られました。問四は「一文節」指定です。「文節」についても復習しておきましょう。㊧は、読みやすく全体によくできています。㊨は、全体に難しく、問二、問三①の書き抜きと、問四の長い記述が特に難しかったようです。文章量が多いと時間が足りなくなってしまう場合は、時間を計りながら問題演習を重ねるとよいでしょう。㊩は、全体に難しかったようです。古文は助詞や主語が省略されている場合が多いです。口語訳と見比べながら、もう一度読んでみましょう。

全体を通して、空欄の前後との接続や、誤字脱字などにも注意しましょう。

数学

①、②の得点が伸びず、平均点も低くなりました。入試に近い出題で、難しく感じた人が多いと思います。

①では、比例式の解き方や、反比例の対応する値の求め方で、取りこぼしが目立ちました。作図は「2辺から等距離にある点」の求め方がポイントでした。「なぜそうなるのか」理由が理解できると覚えやすくなります。

③は、まずは問1、問2をしっかりとおさえましょう。問1は、「 x の増加量」「 y の増加量」「変化の割合」の意味をしっかりとおさえれば難しくありません。

④問1の証明の、「 $A=B$ 、 $B=C$ ならば $A=C$ 」のパターンは入試でも頻出です。条件から言えることを積み重ねて、必要なことがらを導く方法を身につけましょう。

⑤の問1、問2の(1)は比較的取り組み易い問題です。解説を読んで、もう一度チャレンジしてみましょう。

社会

やや難しい出題でした。

地理分野・歴史分野ともに、記述問題では、問題の指示に従わず問われたことを答えていない解答や、指定語句を使っていない解答が目立ちました。記述問題は、問題文をよく読んで、何を問われているのかを確認してから解答を書くように心がけましょう。

地理分野では、①問5の資料を読み取る問題の得点率が低くなりました。読み取り問題では、選択肢と資料の数値をていねいに確認するようにしましょう。

歴史分野では、③問2(2)の年代並べかえ問題の得点率が低くなりました。1つ1つのできごとを詳しく理解するのは重要ですが、歴史の大きな流れを捉えることも大切なことです。今のうちに復習し、これまで学習したことをしっかり身につけておきましょう。

理科

標準的な出題でした。

①は基本的な内容です。間違えたところがあれば、しっかりと復習しましょう。

③問3は難しい出題でしたが、よく見られる問題です。④は、火山・火成岩について基本的な内容でしたが、1年の学習内容だったためか、あまり得点がのびませんでした。⑤は、実験の内容や結果を正確に読み取る力や、応用力が必要とされる出題でした。⑥と⑦は、全体としてはよくできていましたが、⑦問2は、計算だったこともあるのか、今回の出題の中で最も得点率が低くなりました。高い得点を目指すには、このような計算問題などに対応する必要があります。始めは難しく感じられるかもしれませんが、演習を繰り返し重ねていきましょう。

英語

やや難しい出題となりました。全体的にあまり得点が伸びず、とくに④では得点率が20～30%程度の問いが多く見られました。今後は入試に向けて、文法の基礎固めに早めに取り組み、入試問題の形式や出題に慣れるために類似問題の演習を意識的に行っていきましょう。リスニングも慣れが必要ですので、忘れずに対策をしていきましょう。

①リスニングでは問3 No.1で得点率が低くなりました。オーソドックスな問いでしたが、内容をきちんと把握していないと誤りを選んでしまう問題でした。確認してみてください。また、④問2③も得点率が低くなりました。thinkのあとには主語と動詞がくること、動名詞は主語になることができること、その2つを理解していることが必要でした。しっかりと復習しておきましょう。